

事務事業実績測定調査

事務事業名称	職員健康管理事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	総務部				課	職員課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市職員健康管理規程、枚方市安全衛生管理規程				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	全職員
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	公務能率及び市民サービスの向上効果を生み出すため、職員の健康の保持・増進及び快適な職場環境の形成・促進を図る必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	職員の健康状態を的確に把握し、必要に応じて適切な助言指導を行い、職員の健康を保持・増進するとともに、各衛生委員会及び安全衛生委員会を中心に快適な職場環境を形成・促進することで、公務能率及び市民サービスの向上効果を生み出している状態。
---------------------------	--

事業概要	<p>・法定健康診断については、定期健康診断、特殊健康診断を実施する。これらの健診の結果、必要に応じ健康管理医や保健師による保健指導や健康相談を実施する。その他、胃検診、乳がん検診(マンモグラフィ検診)、子宮がん検診、大腸がん検診(「全国健康保険協会(協会けんぽ)」に加入する職員本人を対象)、VDT眼科検診及び筋骨格系検査、頸肩腕検診を実施する。また、メンタルヘルス不調の一次予防強化の取組みとしてストレスチェックを実施する。</p> <p>・職場における安全衛生を確保するため、事業場ごとに設置している各衛生・安全衛生委員会を中心に、職場巡視やヒヤリハット事例の共有・防止など、快適な職場環境の形成・促進に取り組む。また、中央安全衛生会議を設置し、各事業場の取り組み状況を共有・調整を実施する。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明															
	指標種類	単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標(見込み)														
	実績															
	達成度															
分析																

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.82
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	24,449	24,051	15,443		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	132	126	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	24,581	24,177	15,443		
	物件費計	20,368	19,450	23,636	33,868	70%	
	歳出計	44,949	43,627	39,079			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		44,949	43,627	23,636	33,868		

5. 総括的分析

総括的分析	職員健康管理事務について、法令の規定等を踏まえ、適正に実施した。 また、安全で快適な職場環境の整備の一助となるよう、ストレスチェック後に、所属長向けにラインケア研修を実施し、各職場において集団分析結果を活用した環境改善に取り組み、その内容をまとめた職場環境改善事例集を作成し、周知を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各種検診については、費用対効果の観点も考慮しつつ、今後も実施していく。また、本市における健康経営を推進し、健康経営優良法人の認定を受けることを目指して、市長をトップとした実施体制のもと、職員及び職場の健康づくりに向けた効果的な取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	職員福利厚生事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	総務部				課	職員課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	1983 (S58) 年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	枚方市職員の厚生制度に関する規則													
関係補助金名称												サンセット	~	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方市共済会会員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		会員の生活の向上を図り、公務能率を増進する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	会員の生活の向上を図り、公務能率及び市民サービスの向上効果を生み出している状態。													
事業概要	枚方市職員共済会の活動概要は次のとおりである。 1. 会員制福利厚生事業 2. 文化体育事業 3. 給付事業													

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	28,765	28,060	23,925		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	75	70	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	28,840	28,130	23,925		
	物件費計	39,918	37,569	33,927	39,656	86%	
	歳出計	68,758	65,699	57,852			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	1,002	1,018		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	9,958	11,314		
	歳入計	0	0	10,960	12,332		
	一般財源	68,758	65,699	22,967	27,324		

5. 総括的分析

総括的分析	会員制福利厚生事業及び給付事業については例年同様の内容を基本として実施したが、文化体育事業については新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントを中止した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	文化体育事業については、飲食やバスでの移動を伴うなど、コロナ禍の影響を受ける恐れがあるものが多いことを踏まえ、抜本的な見直しを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	職員給与等管理事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	職員課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務				
事業期間	1948(S23)年度			年度	~				年度まで					
根拠法令等	枚方市報酬及び費用弁償に関する条例 枚方市職員給与条例 市長等の給与に関する条例													
関係補助金名称								サンセット				~		
関係附属機関名称	枚方市公務災害補償等認定委員会、枚方市公務災害補償等審査会、枚方市特別職報酬等審議会													
事業対象	メインターゲット		全職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		職員の給与及び勤務時間等の勤務条件並びに公務災害等に関する事務の適正な執行を図り、もって公務能率の向上を実現する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	職員の給与及び勤務時間等の勤務条件並びに公務災害等に関する事務の適正な執行を図り、もって公務能率の向上が実現されている状態。													
事業概要	特別職、非常勤職員及び臨時職員を含む全職員の報酬・給料及び賃金の支給、各種社会保険に関する事務、公務災害関係事務、休暇その他勤務条件に関する事務等の適正な執行に努める。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明		単位				単位				単位			
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	44,071	43,292	43,065		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	150	140	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	44,221	43,432	43,065		
	物件費計	66,648	149,660	177,402	93,853	189%	
	歳出計	110,869	193,092	220,467			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	16,053	6,180		
	歳入計	0	0	16,053	6,180		
	一般財源	110,869	193,092	161,349	87,673		

5. 総括的分析

総括的分析	報酬・給料及び各種手当の支給、各種社会保険に関する事務、公務災害関係、休暇その他勤務条件に関する事務等の適正な執行を行った。新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発令を受け、テレワークや時差勤務(出勤)など本感染症の感染拡大防止のための取り組みを実施した。また、引き続き、長時間労働の縮減や休暇の取得促進など、職員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新しい生活様式の定着を目指すとともに、職員のワークライフバランスを推進する観点から、市民サービスの低下を招くことのないよう十分留意しつつ、ICTを活用した働き方改革の一環として、職員のテレワークを推進する。また、長時間労働の縮減などの働き方改革を引き続き推進するとともに、その他の事務についても業務方法の見直しなど適正で効率的な事務執行に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	職員被服等貸与事務											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	総務部				課	職員課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	1957 (S32) 年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市職員被服等貸与規則						
関係補助金名称						サンセット	~
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	全職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	職員が職務に従事するにあたり、適正に作業着等の被服を貸与しなければ、安全かつ衛生的な作業環境を確保することができない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	職員が従事する職務に応じて、適正な被服を貸与し、能率的な職務遂行が図れている状態。						
事業概要	枚方市職員被服等貸与規則に基づく種類の被服、着数とその貸与期間に応じて貸与する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	75	70	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	870	872	798	
	物件費計	4,479	2,684	1,806	3,457	52%
	歳出計	5,349	3,556	2,604		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,349	3,556	1,806	3,457	

5. 総括的分析

総括的分析	作業服については、数量の把握や貸与を適正に実施した。
-------	----------------------------

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	現状、毎年度購入している被服(作業服)については、今後、より安価な商品(仕様)への見直しを含めた検討を行うなど、単価軽減に向けた取組みを行っていく。また、貸与基準の適正性について改めて検討し、必要に応じて見直しを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	職員課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	総務部				課	職員課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称						サンセット	~					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		課職員									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。											
事業概要	<p>(職員課運営事務)</p> <p>①市議会、職員団体等に対する調整及び交渉等</p> <p>②行政評価及び事業計画等に関する事務</p> <p>③庁内外への照会・回答処理事務</p> <p>(職員課庶務事務)</p> <p>①職員課の予算及び決算に関する事務</p> <p>②職員課職員の給与、休暇、服務等に関する事務</p> <p>③消耗品等の物品の契約及び整理、保管に関する事務</p>											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明		単位		単位		単位		単位		単位		
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
		実績											
達成度													
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,349	8,017	7,975	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	150	140	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人件費計	8,499	8,157	7,975		
	物件費計	1,558	1,185	1,017	1,125	90%
	歳出計	10,057	9,342	8,992		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	10,057	9,342	1,017	1,125	

5. 総括的分析

総括的分析 職員課運営事務及び庶務事務双方について、適正かつ効率的に、また迅速かつ正確に遂行した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、職員課運営事務等について、正確かつ迅速に行う。